

2021年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査

調査媒体：水質 (ng/L)

地方公共団体：大分県

調査地点：大分川河口 (大分市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[1] アミオダロン	nd	2.8	3.5
[2-1] イベルメクチンB1a	nd	0.015	0.015
[2-2] イベルメクチンB1b	nd	0.013	0.013
[5] <i>N</i> -(2,3-ジメチルフェニル)アントラニル酸 (別名：メフェナム酸)	※0.14	0.094	0.16
[6] ストレプトマイシン	nd	1.1	1.1
[7] 6-ニトロクリセン	nd	0.23	1.0
[8] 2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン (別名：ベンゾフェノン-3)	nd	0.67	0.67
[11] <i>p</i> -メトキシケイ皮酸2-エチルヘキシル	18	3.5	3.5

(注1) nd：不検出

(注2) ※：参考値 (調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値である。)